

時間栄養学

日時：平成24年6月14日（木） 13時30分～

会場：喜山倶楽部 <東京都千代田区一ツ橋2-6-2日本教育会館内9階>

参加費：特別価格 10,000円（税込）

【座長：】 石井茂孝先生 キッコーマン(株) 顧問

1997年時計遺伝子が発見されて以来、生体の至る所でその働きが確認されてきた。消化機能を司る臓器にも時計遺伝子は存在し、その働きは、時間情報に深く関わっている。栄養素を摂る時刻により栄養効果が異なることを明らかにする学問を時間栄養学と言う。何を食べるかに加えて、何時食べるかが健康維持に重要になってきた。栄養素の不足のほとんどない現在、何時食べるかという方が何を食べるか以上に重要になってきたと考えられる。

【講演1】 13:40 ~ 14:50

時間栄養学—細胞から動物

早稲田大学 先進理工学部 生理・薬理研究室 教授 柴田重信 先生

約15年前に哺乳類の体内時計を動かす時計遺伝子が発見され、体内時計のリズム発振の分子機構の解明が進められてきた。時計遺伝子発現リズムのパターン解析から末梢臓器にも時計機構が備わり、消化・代謝系に時間情報を与えていることが分かってきた。そこで、体内時計と食・栄養の関係を調べる研究分野(時間栄養学)が注目され始めた。

【講演2】 15:00 ~ 16:10

時間栄養学—動物からヒト

県立広島大学 人間文化学部 健康科学科 教授 加藤秀夫 先生

体のリズムは、体温や血圧、内分泌・栄養素代謝などの生命活動に深く関わり、体の状態を一定に保つホメオスタシス(恒常性)とは異なり、時々刻々と変動する生活リズムに適応する自律的な予知機能である。この生体リズムの発現には明暗のリズムより口からの食事摂取サイクルが重要視させている。今回のテーマである生体リズムと食事を組み合わせた時間栄養学はこれからの栄養学に新しい方向性を与える。

【座長まとめ】 16:10~16:30

お問い合わせ先：

日本食糧新聞社 (食品ニューテクノロジー研究会) 中山/合志
〒105-0003 東京都港区西新橋2-21-2 第一南桜ビル7階

TEL 03-3432-4664 FAX 03-3459-4654 携帯 090-3146-7995

次回ご案内:7月5日(木) 食品総合研究所&前川製作所&千葉大学 見学会 同行:岩元睦夫先生

時間栄養学

食品ニューテクノロジー研究会 6月14日申込書

FAXで03-3459-4654までお申し込み下さい。

- ◇ お申込み後、請求書をお送りいたします。
- ◇ 受講票は発行しておりません。
- ◇ 当日は名刺をお持ちください。

会社名	
住所	〒
電話	
FAX	
お名前	部署／お役職



喜山倶楽部

東京都千代田区一ツ橋2-6-2
日本教育会館内9階
tel03-3262-7661
<http://www.jec.or.jp/koutuu/index.html>

提供いただきました個人情報、当該業務および当社からのご案内を目的として利用します。なお、個人情報を当該業務の委託に必要な範囲で委託先に提供する場合や関係法令により認められる場合などを除き、お客様の許可なく第三者に提供することはありません。